
魔法少女リリカルなのはStrikers 吸血鬼の男

Y・T

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはStrikers 吸血鬼の男

【Nコード】

N8657Z

【作者名】

Y・T

【あらすじ】

J・S事件から数ヶ月後に、一人の男がミッドチルダに現れる。その男の登場により新たな物語が始まる。

プロローグ（前書き）

作者は小説を書くのは、初めてです。

作者は、リリカルなのはの知識が、殆どありません。

それでも暇な時にでも読んで頂けたらありがたいです。

プロローグ

深い夜の森に立ち尽くす影が一つ

その影は人の形をしていた

だがそれは人ではない

人の形をした別のものだった

「そついやぁ最近…森から出てないなぁ…」

そつ呟いて影は動きだした……が、すぐに立ち止まり夜空を見上げた。

そこには月が浮かんでいた。

「いつ見ても月ってのは……綺麗に輝いてるもんだなぁ…なんだかあいつの事を思い出す。」

その影は…男は月に届くことの無い手を伸ばし微笑みながらそつ呟いた。

そして再び男は歩き出した。

深い深い夜の森をひたすらに歩き出した。

プロローグ（後書き）

感想やアドバイスを頂けたらありがたいです。

第一話 俺、跳ねられました。(前書き)

作者はリリカルなのはの知識が、殆どありません。

小説を書くのは初めてなので、色々おかしい所もあると思います。それでも読んで頂けたら嬉しいです。

第一話 俺、跳ねられました。

「待てゴラ〜！」

そう叫びながら街の中を走っている一人の男が居た。
と言うか俺だ。

俺は今ある物を追いかけている。

それは……………車だ。

ちなみに何故、俺が車を追いかけているのかと言つと……………

〜回想〜

「はあ〜、暇だなあ〜」

俺は現在特にやる事も無いので適当に街をぶらついていた。

久しぶりに森を出て街にやって来たのだが、特にやる事も無い俺は街を適当ぶらついていた。

しかしこの街はすげーなあ。

俺が今まで見てきた街よりかなり凄い。

何がすごいつて言つとそりゃ、建物の大きさと人の多さだろう。

ビル大きさは大きい物で何十メートルはあるうかと言つ程大きい

し、人の多さもかなりのものだ。
でも、これだけの数の人が居ると中には犯罪を犯す奴も居るのだから。
さっき歩いている途中で人集りを見つけたので、何事かと近づいてみると人相の悪そうな男が、制服姿の人達に手錠の様な物を掛けられていた。
やっぱり犯罪なんてする物じゃないな、なんて考えていたら、いきなり車に跳ねられた。

車に跳ねられた。

大事な事なので、二回言った。

しかもその車は俺を跳ねたあと、さっき手錠を掛けられていた男の近くに停車すると車の窓が開いて中から何か投げ出された。

それは閃光弾だった。

激しい光に目を閉じていると、手錠を掛けられていた男は、素早く車に乗り込みその場から去って行った。

野次馬連中が騒ぎ立ててその内の何人かが、俺に「コイツ跳ねられたけど大丈夫か？」的な視線を向けてきている中、俺はある事に気づいた。

それは……………

アイツ等……俺を跳ねておきながら、一言も謝罪していない…。

それから俺はアイツ等に俺を跳ねた事を謝罪させる為に、走って奴らの車を追いかけた。

く回想終わりく

「待ちやがれくこのボケ　！！」

それからずっと奴らを追いかけているが車は一向に止まる気配はない。

いい加減腹が立ってきていた俺の視界にある物が飛び込んできた。

それは鉄パイプだ。

どうしてこんな道のど真ん中に鉄パイプが落ちているのかは謎だがこれを使わない手はない。

俺は走りながら素早く鉄パイプを拾い上げると、すかさず車に向けて投げつけた。

俺が投げつけた瞬間鉄パイプは槍に形を変えそのまま車のタイヤに刺さった。

そしてその車は、槍がタイヤに刺さった衝撃でバランスを崩し派手に横転した。

「まったくバカな奴らめ。俺にひき逃げが通用すると思っているのか」

俺が車の中で目を回しているアホ共にどの様な罰を与えてやるかを考えていると……

「时空管理局執務官のフェイト・T・ハラオウンです。任意同行願えますか？」

と、後ろから声を掛けられたので振り返るとそこに居たのは、金髪の美人だった。

第一話 俺、跳ねられました。(後書き)

アドバイスを感想を頂けたら、嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8657z/>

魔法少女リリカルなのはStrikers 吸血鬼の男

2012年1月9日23時51分発行